

2025年3月2日(日)第一主日礼拝

エレミヤ書36章1～32節

『書き記された主のことば』

序論:

- ①聖書が神からのラブレターだと言われるのは、なぜですか。
- ②エレミヤは、どのように主のことばを巻物に書き記しましたか。

本論:

1. 神は悔い改めを求めておられる

- ①「エホヤキムの第四年」は、預言者エレミヤにとってどんな時でしたか。
- ②神はなぜ、ご自身のことばを巻物に書き記すように命じられたのですか。
- ③「イスラエルとユダとすべての国々に…」という言葉から、神はだれに向かって語っていますか。

2. 神はあなどられる方ではない

- ①バルクが宮に行って主のことばを読み聞かせると、首長たちはどんな態度をとりましたか。
- ②首長たちが王のところに行ってすべてを報告すると、王はどうしましたか。
- ③すべての主のことばを聞いた王も、彼のすべての家来たちも、どんな態度をとりましたか。

3. 神のことばは永遠に変わらない

- ①神はエレミヤとバルクに、再び何を命じましたか。
- ②王がエレミヤとバルクを捕らえるように命じると、二人はどうなりましたか。
- ③神がご自身のことばを巻物に書き記したことは、今日に私たちにとってどんな意味がありますか。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。